令和５年上半期のストーカー及び配偶者暴力事案の取扱状況について（暫定値）	令和５年８月10日 人身安全対策課

１　ストーカー事案

(1) 取扱状況

ストーカー事案の認知件数は51件で、前年同期より６件(10.5%)減少した。

ストーカー規制法の検挙は３件で、前年同期より１件（25.0%）と減少した。

他法令検挙は５件で、前年同期より２件(66.7%)増加した。

	認知	規制法検挙	他法令検挙	警告	禁止命令
令和4年上半期	57	4	3	6	4
令和5年上半期	51	3	5	5	4
増減	△6	△1	2	△1	0

(2) 行為態様

つきまとい行為の態様は、３号(義務無き要求)が26件(31.3%)と最多で、次いで１号(つきまとい等)が25件(30.1%)となっている。

・　ストーカー規制法第２条第１項

計	１号	２号	３号	４号	５号	６号	７号	８号
81	25	5	26	7	14	1	2	1

※　複数計上のため認知件数より多い

1号　つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、見張り、うろつき	5号　無言電話、拒否後の連続電話・メール等
2号　監視していることの告知	6号　汚物等の送付
3号　面会、交際等義務ないことの要求	7号　名誉を害する行為
4号　粗野又は乱暴な言動	8号　性的羞恥心を害する行為

・　ストーカー規制法第２条第３項

計	１号	２号
2	1	1

1号	ＧＰＳ機器等により位置情報取得
2号	ＧＰＳ機器等の無断取付け

総数	１項関係	３項関係
83	81	2

(3) 関係別

被害者と行為者の関係は、元交際相手が12件で、全体の23.5%を占めている。

総数	配偶者	交際相手	友人知人	同僚	職場関係者	面識なし	その他	行為者不明
51	7	12	9	7	2	1	7	6

(4) 年代別

ア　被害者

被害者の年代別は、20代が16人(31.4%)、30代と40代がそれぞれ11人(21.6%) となっている。

65歳以上の高齢被害者は２人(3.9%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
51	2	16	11	11	9	0	2

イ　行為者

行為者の年代別は、20代が９人(17.6%)、30代が10人(19.6%)となっている。

65歳以上の高齢行為者は７人(13.7%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上	行為者不明
51	1	9	10	7	7	3	7	7

２　ＤＶ事案

(1) 取扱状況

配偶者暴力(ＤＶ)事案の認知件数は139件で、前年同期より５件(3.5%)減少した。

ＤＶ防止法の検挙は１件で、前年同期より１件（100%）増加した。

他法令検挙は６件で、前年同期より１件(20.0%)増加した。

	認知件数	DV防止法検挙	他法令検挙	保護命令
令和4年上半期	144	0	5	2 (0)
令和5年上半期	139	1	6	9 (0)
増減	△ 5	1	1	7 (0)

( )は他機関決定

(2) 関係別

被害者と加害者の関係は、婚姻関係が105件(75.5%)、同居型交際が23件(16.5%)となっている。

総数	婚姻	内縁	同居型交際	元婚姻	元内縁	元同居型交際
139	105	4	23	7	0	0

(3) 年代別

ア　被害者

被害者の年代別は、40代が32人(23.0%)、30代が33人(23.7%)、20代が26人(18.7%)となっている。

65歳以上の高齢被害者は、25人(18.0%) となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
139	1	26	33	32	15	7	25

イ　加害者

加害者の年代別は、40代が30人(21.6%)、30代が42人(30.2%)、20代が18人(12.9%)となっている。

65歳以上の高齢加害者は、31人(22.3%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
139	1	18	42	30	10	7	31